

地域を守るボランティア組織について
大野 栄光



〔質問〕地域を守るボランティア組織に防犯協会がある。

市民のため、安心して毎日が送れるよう昼夜活動しており、お祭りやイベントに自主的に警戒に当たるなど、大変心強く、犯罪への抑止力となる。本市において大きな犯罪がないことは彼らの活動によるところが大きい。

市は、防犯協会にどのような支援を行っているのか伺う。

〔答弁〕【市長】白石市防犯協会連合会へ補助金の支出を行うとともに、当該連合会及び白石地区防犯協会の事務局としての事務を行い、活動の支援を行なっている。

白石市防犯協会連合会では、各地区防犯協会へ世帯数割等で補助金を支出し、各地区の活動支援を行なっている。

また、各地区で組織している防犯実働隊に対し、市の負担により障害保険に加入していただいております。本年度は150名が加入している。

〔質問〕防犯協会の方たちは高齢者が多く、巡回は自費で行なっている状態である。

いくらかでも市から支援はできないか伺う。

〔答弁〕【市長】本市の安全・安心を担っていただいているさまざまなボランティア団体も数多く存在している中で、他の団体との均衡を考えると、防犯協会にのみ支援することは難しいと考えている。

◎本市上級職への女性の登用について

〔質問〕国の内外を問わず女性の活躍は素晴らしいものがある。

本市でも、女性課長は在席しているが多くの場合、部長や三役職に至っては在席した姿は記憶にない。

女性職員にはまだまだ活躍していただき、本市を盛り上げてほしいと思うが所見を伺う。

〔答弁〕【市長】部課長の女性管理職は現在、1人である。管理職については、統率力、評価力、指導力、部下育成力及び経営意識を求めている。

今後職員一人一人の管理職としての資質を見きわめた上で、女性の登用も含め、適材適所に職員を配置していきたいと考えている。

〔その他の質問〕

◎キツネ村へのバス運行について

◎総合防災訓練について

35人以下学級について
佐藤 龍彦



〔質問〕今年度、市内小・中学校の学級編制において、36人以上で編制された学校、学級はいくつあるのか伺う。

〔答弁〕【教育長】36人以上で編制された学校、学級数については、現在、白石第二小学校の5学年で1学級、福岡小学校の6学年で1学級である。

〔質問〕35人以下にならなかった学年の保護者に対し、どのような方法で説明がなされたのか伺う。

〔答弁〕【教育長】教育委員会として保護者に対し説明は行なっていないが、該当する学校においては、会議の場や文書によって保護者にお知らせしている。

佐藤 龍彦

ものと認識している。

〔質問〕第430回定例会で前教育長が加配について誤解を招くような答弁をされていることに対し、どのように考えているのか伺う。

〔答弁〕【教育長】35人以下学級の該当校には、県による複数の加配が存在している。第430回定例会で前教育長が答弁した加配は、統合再編加配という名称で俗に呼ばれている。

それも加配の一部であり、各学校の校長が自校の教育課題等に基づいてその加配を活用していることを認識している。今後も引き続き、校長の判断を尊重しながら、教育委員会として支援をしていきたい。

〔質問〕子ども食堂に關して市長の認識を伺う。

〔答弁〕【市長】子ども食堂は、地域住民等の民間による取り組みとして無料、または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するもので、家庭においてひとりで食事をすることが多い子どもたちに対し、複数の人と一緒に食事をする機会を提供する取り組みと認識している。

〔質問〕今後、子ども食堂の開設に対し、助成金等の支援策を検討する考えはないか伺う。

〔答弁〕【市長】今後は、民間団体等から設立の相談があった場合、助成金等の支援策について、民間団体等の計画が国、県等の補助金が該当するかを含めて検討していきたい。

〔その他の質問〕

◎放射能汚染廃棄物の試験焼却について

◎本市の高齢者、障害者支援の現状について